



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2702 URL <http://www.mcd-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) サラ L. カサノバ

問合せ先責任者 (役職名) IR統括責任者 (氏名) 中 澤 啓 二

TEL 03-6911-6000

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	104,893	23.0	47	—	△151	—	158	—
27年12月期第2四半期	85,281	△29.5	△18,291	—	△19,536	—	△26,220	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 43百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 △26,314百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	1.19	—
27年12月期第2四半期	△197.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	172,698	104,908	60.6
27年12月期	178,868	108,853	60.8

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 104,719百万円 27年12月期 108,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	220,000	16.1	3,300	—	2,200	—	1,000	7.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	132,960,000 株	27年12月期	132,960,000 株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	869 株	27年12月期	869 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	132,959,131 株	27年12月期2Q	132,959,131 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は、終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間は、既存店売上高が3四半期連続で対前年比プラスとなる23.2%の増加となり、システムワイドセールスは2,050億14百万円(対前年同期比329億88百万円増加)、売上高は1,048億93百万円(対前年同期比196億12百万円増加)となりました。営業利益は、売上高の回復や店舗収益性の改善等により47百万円(対前年同期比183億39百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億58百万円(対前年同期比263億78百万円増加)となりました。

(注) 1. 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗の合計売上高です。

2. システムワイドセールスとは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、連結損益計算書に記載されている売上高と一致しません。

3. 当社グループの事業はハンバーガーレストラン事業単一であるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(事業戦略に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間は、食の品質と安全に関する継続した取り組みとともに、中長期の成長に向けた4つの柱(「よりお客様にフォーカスしたアクション」「店舗投資の加速」「地域に特化したビジネスモデル」「コストと資源効率の最適化」)からなるビジネスリカバリープランに沿って、お客様に最高の店舗体験をご提供するために以下の取り組みを実施しました。

<よりお客様にフォーカスしたアクション>

・「おてごろマック」でのバリューの提供:

200円のバーガーマニュー、150円のサイドメニュー、100円のデザート・ドリンクメニューをお客様のご予算とニーズに合わせて様々にお楽しみいただけるおてごろマック」に、レギュラーメニューとして「チキンチーズバーガー(チキチー)」を追加しました。4月には累計販売5,000万食突破するなど、お客様にご好評いただいています。

・新しいワクワクする期間限定商品の販売:

お客様と一緒に楽しみいただける参加型のプロモーションや、驚きのあるフードニュースでワクワク感を盛り上げ、マクドナルドらしい楽しさとパッションをお伝えしました。

1月には新鮮で驚きのある組合せの「マックチョコポテト」、2月には正式名称を公募した「北のいいとこ牛(ぎゅ)っとバーガー」を販売し、お客様にお楽しみいただきました。6月には、「チキンマックナゲット」の新ソース「クリーミーチーズソース」「フルーツカレーソース」を販売し、「怪盗ナゲッツ」の登場など楽しさやワクワク感を創出したキャンペーンを実施しました。また、15種類の定番バーガーに「ハラペーニョ」「クリームチーズソース」「スモークベーコン」の3種のトッピングを加えアレンジできる「マックの裏メニュー」キャンペーンを行い、多くのお客様に定番メニューの新たなおいしさをお楽しみいただきました。

・新コンセプト「BurgerLove」の立ち上げ:

多くのお客様にマクドナルドのバーガーを楽しんでいただきたいという想い、バーガー作りに対するこだわりや情熱、お客様のバーガー愛を大切にする「BurgerLove」のコンセプトを立ち上げ、魅力的な商品の開発と、お客様とのコミュニケーションを展開しました。

第一弾として、4月初めに、レギュラーメニューの「ビッグマック」をサイズアップした「グランド ビッグマック」「ギガ ビッグマック」を販売し、規格外の大きさと美味しさが大きな話題となりました。第二弾として、4月下旬には、バーガーのおいしさを追求し、たどり着いた王道の味のバランスを表現した自信作「クラブハウスバーガー」を販売し、お客様からも高い評価をいただきました。5月下旬には、第三弾として、ハワイの定番料理「ロコモコ」の味わいをハンバーガーで実現し、ハワイ州観光局の公認をいただいた「ロコモコバーガー」を昨年引き続き販売し、ご好評いただきました。

・新ブランド「By McSWEETS」の展開：

幅広い世代のお客様に、“いつでも気軽に楽しめるスイーツ”を提案する新しいスイーツブランド「By McSWEETS」を立ち上げ、既存商品に加え、国内の地域名産食材を使った下記の商品を期間限定でお楽しみいただきました。

- 2月 国産はちみつと瀬戸内レモンの果汁を使用した「マックシェイクはちみつレモン」
- 3月 北海道ミルクを使用した「北海道ミルクパイ」、北海道あずきと宇治抹茶を使用した「マックフルーリー 宇治抹茶あずき」
- 5月 愛媛県の“甘夏”を使用した「マックシェイク甘夏みかん」
- 6月 宮崎県の“日向夏（ひゅうがなつ）”を使用した「マックフルーリー 日向夏チーズケーキ」、沖縄県の“パイナップル”を使用した「マックシェイク沖縄パイ」

<店舗投資の加速>

最高の店舗体験と目に見える変化を一人でも多くのお客様に感じていただくために、平成30年度末までに90%以上の店舗をモダン化する計画を進めており、既存店舗の改装にリソースを優先的に振り向けております。当第2四半期連結累計期間は、フードコートやモールにある店舗を含めて211店舗の改装と2店舗のリビルドを実施しました。ご注文と受け渡し場所を分けお客様へのサービスを強化するデュアルポイントサービスは、当第2四半期連結累計期間末で427店舗への導入を完了しました。

区分	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	区分移行		当第2四半期 連結累計期間末
				増加	減少	
直営店舗数	954店	1店	△14店	4店	一店	945店
フランチャイズ店舗数	2,002店	1店	△27店	一店	△4店	1,972店
合計店舗数	2,956店	2店	△41店	4店	△4店	2,917店

<地域に特化したビジネスモデル>

「お客様により近い位置での経営の実現」を目的に昨年6月に導入した日本を3つのエリア（東日本、中日本、西日本）に分けた地区本部制のもと、各地域・店舗でコミュニティと協力して、地域に密着した様々な活動を行っています。

<コストと資源効率の改善>

戦略的閉店や一般管理費の最適化等により収益性は着実に改善しています。今後も長期的なビジネスの成長に投資を集中するため、リソースの最適な配分や抜本的なコストの構造の見直しを継続的に実施してまいります。

驚きのある新しい期間限定商品や季節の定番メニューなどお客様に魅力的で美味しいと感じていただけるメニューを、お得感のある価格でお届けし、モダンで心地よい店舗環境と最高のQ S C（Quality, Service, Cleanliness）を提供してまいります。そして、お客様の総合的な店舗体験の質を高め、よりお客様と地域に密着した活動を通じて、「お客様と心でつながる、モダン・バーガー・レストラン」を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は301億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億62百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が28億91百万円、売掛金が8億26百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は1,425億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億8百万円の減少となりました。これは、建物及び構築物を取得したこと等により有形固定資産が18億13百万円増加、敷金及び保証金の回収等により投資その他の資産が33億35百万円減少したことが主な要因です。

流動負債は290億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ124億31百万円の減少となりました。これは、短期借入金50億円、未払金が50億59百万円、戦略的閉店に対する店舗閉鎖損失引当金が15億57百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は387億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ102億6百万円の増加となりました。これは、銀行借入れにより長期借入金が107億50百万円増加したことが主な要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて28億91百万円減少し、174億97百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は18億72百万円(前年同四半期連結累計期間は131億17百万円の減少)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2億1百万円、減価償却費及び償却費45億60百万円、その他負債の増加18億75百万円、売上債権の減少8億26百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は56億82百万円(前年同期比10億19百万円減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得に伴う支出71億7百万円、敷金及び保証金の回収による収入28億30百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は9億56百万円(前年同期比155億1百万円減少)となりました。これは主に長期借入れによる収入120億円、短期借入金の返済による支出50億円、長期借入金の返済による支出12億50百万円、配当金の支払いによる支出39億88百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の通期の業績予想につきましては、平成28年2月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,388	17,497
売掛金	8,119	7,293
原材料及び貯蔵品	862	924
繰延税金資産	478	478
その他	4,711	4,002
貸倒引当金	△35	△34
流動資産合計	34,524	30,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,481	47,579
機械及び装置(純額)	3,915	3,901
工具、器具及び備品(純額)	2,334	2,445
土地	17,325	17,325
リース資産(純額)	2,874	2,432
建設仮勘定	479	538
有形固定資産合計	72,410	74,223
無形固定資産		
のれん	1,195	1,105
ソフトウェア	6,760	6,564
その他	693	694
無形固定資産合計	8,650	8,364
投資その他の資産		
投資有価証券	56	56
長期貸付金	9	9
長期繰延営業債権	10,116	9,998
退職給付に係る資産	6,773	6,534
繰延税金資産	224	212
敷金及び保証金	41,457	38,473
その他	8,634	8,578
貸倒引当金	△3,988	△3,915
投資その他の資産合計	63,283	59,948
固定資産合計	144,344	142,535
資産合計	178,868	172,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	303	14
短期借入金	5,000	-
1年内返済予定の長期借入金	2,500	2,500
リース債務	1,428	1,293
未払金	20,843	15,784
未払費用	4,502	3,930
未払法人税等	11	92
賞与引当金	428	1,057
店舗閉鎖損失引当金	1,681	124
たな卸資産処分損失引当金	337	332
資産除去債務	453	53
その他	3,993	3,870
流動負債合計	41,485	29,053
固定負債		
長期借入金	18,125	28,875
リース債務	2,428	1,889
繰延税金負債	1,351	1,236
再評価に係る繰延税金負債	311	291
賞与引当金	293	365
役員賞与引当金	30	54
役員退職慰労引当金	54	65
退職給付に係る負債	1,474	1,454
資産除去債務	4,149	4,188
その他	312	316
固定負債合計	28,530	38,736
負債合計	70,015	67,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	44,955	41,124
自己株式	△1	△1
株主資本合計	111,191	107,361
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△4,261	△4,242
退職給付に係る調整累計額	1,736	1,600
その他の包括利益累計額合計	△2,525	△2,642
非支配株主持分	187	189
純資産合計	108,853	104,908
負債純資産合計	178,868	172,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	85,281	104,893
売上原価	91,004	93,661
売上総利益又は売上総損失(△)	△5,723	11,231
販売費及び一般管理費	12,568	11,183
営業利益又は営業損失(△)	△18,291	47
営業外収益		
受取利息	58	49
受取補償金	74	43
受取保険金	11	61
その他	96	184
営業外収益合計	241	338
営業外費用		
支払利息	79	128
貸倒引当金繰入額	744	19
店舗用固定資産除却損	311	222
賃貸借契約解約違約金	16	11
その他	333	156
営業外費用合計	1,486	538
経常損失(△)	△19,536	△151
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	478
特別利益合計	-	478
特別損失		
固定資産売却損	81	-
固定資産除却損	73	124
減損損失	3,516	-
店舗閉鎖損失	722	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,840	-
早期退職制度関連費用	550	-
特別損失合計	6,784	124
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△26,320	201
法人税等	△103	41
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,217	160
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,220	158

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,217	160
その他の包括利益		
土地再評価差額金	36	19
退職給付に係る調整額	△132	△135
その他の包括利益合計	△96	△116
四半期包括利益	△26,314	43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,317	41
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△26,320	201
減価償却費及び償却費	4,161	4,560
減損損失	3,516	-
店舗閉鎖損失	722	-
早期退職制度関連費用	550	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,899	△74
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	1,819	△1,557
その他の引当金の増減額(△は減少)	△623	730
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5	△20
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	274	238
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	△277	△239
受取利息	△58	△49
支払利息	79	128
固定資産売却損益(△は益)	81	-
固定資産除却損	384	122
売上債権の増減額(△は増加)	1,306	826
たな卸資産の増減額(△は増加)	2	△62
フランチャイズ店舗の買取に係る のれんの増加額	△593	△100
長期繰延営業債権の増減額(△は増加)	△3,883	117
その他の資産の増減額(△は増加)	3,693	760
仕入債務の増減額(△は減少)	△496	△288
未払金の増減額(△は減少)	177	△4,981
未払費用の増減額(△は減少)	△546	△568
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,321	1,875
その他	111	419
小計	△15,347	2,040
利息の受取額	4	0
利息の支払額	△65	△128
店舗閉鎖損失の支払額	-	△57
早期退職制度関連費用の支払額	-	△19
法人税等の支払額	△442	△107
法人税等の還付額	2,733	145
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,117	1,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,633	△7,107
有形固定資産の売却による収入	198	-
敷金及び保証金の差入による支出	△248	△178
敷金及び保証金の回収による収入	1,496	2,830
ソフトウェアの取得による支出	△1,379	△505
資産除去債務の履行による支出	△144	△724
その他	8	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,702	△5,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△5,000
長期借入れによる収入	22,000	12,000
長期借入金の返済による支出	△625	△1,250
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△928	△805
配当金の支払額	△3,988	△3,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,457	956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,411	△2,891
現金及び現金同等物の期首残高	28,628	20,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,217	17,497

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、ハンバーガーレストラン事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。